

静岡市 いきもの 散策マップ

麻機遊水地コース
あさはた緑地・麻機遊水地第3工区

しょくぶつ

● ミズアオイ



沼や田んぼに見られる植物で、7～10月に青紫色の花を咲かせます。近年、農薬などの影響で数を減らしています。

● ヒメガマ



水辺に群生する植物で、葉がガマよりやや細くなります。夏にソーセイジのような形をした、茶色の花をつけます。

● ハス



7～8月に大きな桃色の花を咲かせる水辺の植物です。根はレンコンの名で知られ、食用とされています。

● タコノアシ



水辺に育つ植物で、小さな花がたくさん並ぶ様子が「吸盤のついたタコの足」に似ていることから、この名があります。

● オモダカ



田んぼや溜め池に見られる植物で、8～10月に白色の花を咲かせます。矢じりのような形の葉が特徴です。

● シロバナサクラタデ



休耕田や草地に生える多年草で、全国に広く分布し、8～11月に白い花を咲かせます。

● カンガレイ



カヤツリグサ科の植物で、水辺に生育し、茎が三角の断面を持つイグサに似た姿の植物です。

● オギ



ススキに似ていますが、オギは茎が1本ずつ生えます。ススキは乾いたところに、オギは湿ったところに生えます。

むし

● アキアカネ



はねを広げると6cmくらいで、ナツアカネと違って、頭や胸はあまり赤くなりません。成虫は6～12月に見られます。

● ウチワヤンマ



はねを広げると10cmくらいで、おしりの近くにうちわ型の突起があります。成虫は5～9月に見られます。

● ショウジョウトンボ



はねを広げると6cmくらいのトンボで、成虫は6～12月に見られます。オスは赤色、メスは黄褐色の体をしています。

● チョウトンボ



はねを広げると7cmくらいで、青く幅広いはねでチョウのようにヒラヒラ飛びます。成虫は5～9月に見られます。

● コシアキトンボ



はねを広げると6cmくらいのトンボで、黒色のお腹の一部分は白くすけて見えます。成虫は5～10月に見られます。

● キタキチョウ



主に林のまわりにすみ、成虫で冬を越すため、ほぼ1年中見ることが出来ます。幼虫はマメ科の植物を食べます。

● ベニシジミ



タデ科のスイバやギンギシのある堤防や畑のまわりで、春のはじめから見ることが出来ます。

● オオスズメバチ **要注意**



日本最大のスズメバチで、日本のイチでは最も強い毒を持ちます。大きな木の根元や土の中などに巣を作ります。

アクセス情報



【バスでのアクセス】
麻機小学校バス停まで
1. 静鉄バス静岡駅前バスターミナル 16番乗場より「大浜麻機線 [72] 麻機行き」に乗る。
2. 「麻機小学校」にて下車。徒歩約7分であさはた緑地に到着。

緊急連絡先
・ 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
・ 消防 119番
・ 警察 110番

注意事項
・ ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
・ 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
・ コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
・ 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。
・ コース周辺の私有地には駐車しないでください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
発行者：静岡市環境局
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
TEL: 054-221-1319 FAX: 054-221-1492
制作年：令和6年2月

とり・どうぶつ

● オオヨシキリ **夏鳥**



ヨシの間で「ギョギョシ、ギョギョシ」とけたたましく鳴きます。春に日本へやってくる渡り鳥です。

● ミサゴ **冬鳥**



カラスくらいの大きさのタカです。海岸や河川などの上空を飛びまわり、水に飛び込んで魚をつかまえます。

● ニホンノウサギ



全身は茶色ですが、お腹だけ白い色をしています。主に夜に活動し、葉や芽や枝などを食べます。

● カヤネズミ



日本最小のネズミです。低地の湿地や田んぼにすみ、ススキなどの葉で球形の巣をつくって子育てをします。

● コアシサシ **夏鳥**



ハトより小さく、ほっそりとした鳥です。海や川、湖沼の上を飛びまわり、空中から水に飛び込んで魚をつかまえます。

● ノビタキ **夏鳥**



スズメより小さな鳥で、静岡では春と秋だけに見られます。飛んでいる昆虫などを空中でつかまえて食べます。

● タヌキ



人里でもよく見られ、キツネに比べ足が短く、ずんぐりした体型です。雑食で、小動物や果実など何でも食べます。

● ニホンイタチ



40～55cmくらいの中型の哺乳類です。餌は、主にネズミや昆虫で、水に入り魚をとることもあります。

● モズ **留鳥**



スズメより大きな鳥です。「キリキリ」「キキキ」「チチキチ」など高い声でさまざまに鳴きます。人家の庭先でも見られます。

● カイツブリ **留鳥**



ハトより小さな水鳥です。全国の池や湖にすんでいて、水中に潜って魚をとって食べます。

● アオダイショウ



全長1～2mになる本州最大のヘビで、全身褐色をおびたオリーブ色です。主に小型の哺乳類、小鳥を食べます。

● クサガメ



甲長10～25cmの沼などにすみカメです。頭の側面に黄色の模様があり甲羅には3本のタテジギがあります。

● カワラヒワ **留鳥**



スズメくらいの大きさで、飛ぶと翼に黄色の模様が見られる小鳥です。雑木林などで見られます。

● カワセミ **留鳥**



静岡市の鳥です。スズメより少し大きく、あざやかな水色をしています。水中に飛び込んで、魚をとって食べます。

● ヌマガエル



体長30～70mmくらい。ツチガエルとの違いはお腹が白い所です。水辺に生息し、近年増えているように思われます。

● アズマヒキガエル



体長9～15cmになる大型のカエルで、頭の近くから毒を出します。繁殖期にオスは小さく「グックグック」と鳴きます。

外来生物

特：特定外来生物

● ミシシippiaカミミガメ **特**



幼体はミドリガメと呼ばれ、ペットとしてよく飼われます。捨てられたカメが増えています。

● ウシガエル **特**



体長20cmにもなる外来種のカエルで、池や沼、湿地にすんでいます。「フオーオー」と牛に似た声で鳴きます。

● ガビチョウ **特**



冬鳥として渡来するカモの仲間。池、河口、内湾などで見られます。頭の後ろに垂れ下がる冠毛が特徴です。

● オオクチバス **特**



ブラックバスとも呼ばれ、釣りのための放流で全国に広まった外来魚です。池や沼にいる他の魚を食べてしまいます。

● カダヤシ **特**



オス3cm、メス5cmくらい。形はメダカに似ているが、卵胎生です。ボウフラ退治のために導入され、全国に広がりました。

● アカボシゴマダラ **特**



後ろは黒に赤い斑紋が並ぶタテハチョウの仲間です。近年、急速に分布を広げ、市内でもよく見かけるようになってきました。

● オオキンケイギク **特**



北アメリカ原産の外来種で、現在は特定外来生物に指定されています。5～7月に黄色の花を咲かせます。

● オオフサモ **特**



緑白色の葉を持つ水生植物で、原産地は南米のアマゾン川です。その繁殖力から特定外来生物に指定されています。

他にもたくさんの生きものがいるよ！
二次元コードからのぞいてみよう!!



メモ

しずおか みんなの
しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。
ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)



静岡 いきもの 市 散策マップ

麻機遊水地コース

あさはた緑地・麻機遊水地第3工区



- 一般道路
- 遊歩道
- 敷地内道路
- 河川
- バス停
- トイレ
- 駐車場



麻機遊水地のトンボ

麻機遊水地では、春から秋にかけて多くのトンボの仲間を観察することができます。

リスカカネ

オオアオイトトンボ

キイトンボ

湿地植物の保護

麻機遊水地第3工区では、ミスアオイなどの貴重な湿地植物などを守るため、ボランティア団体が保護・管理活動を行っています。
初夏から秋にかけて色々な湿地植物を観察することができます。

ミスアオイの花 (秋)



外来生物

ウシガエル

ミシシッピアカミミガメ

オオキンケイギク

ホテイアオイ

水辺の野鳥

カワウ

アオサギ

カルガモ

ダイサギ



観察小屋